



平成19年11月29日

各位

会社名 住友重機械工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 中村吉伸
コード番号 6302
問合せ先 IR広報室長 大島秀夫
TEL 03-6737-2333

次期中期経営計画「グローバル21」について

当社は、2008年度を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「グローバル21」を策定しましたので、その概要をお知らせいたします。

現在推進中の中期経営計画「躍進07」は、当初目標を、2007年度に営業利益600億円以上、有利子負債残高1,500億円以下、ROIC10%以上と定め2005年度にスタートしましたが、2年目にはこれらの目標値をすべてクリアし、最終年度である今年度は、受注高7,300億円、売上高6,600億円、営業利益770億円、ROIC13.7%を達成する見込みです。

記

1. 次期中期経営計画「グローバル21」の目標

当社は、現中期経営計画「躍進07」において、レベルの高いかつ安定的な成長を実現するため、事業の垂直統合に注力し、「一流商品」の市場への提供や成長事業への設備投資、海外展開の加速といった施策を積極的に実施してきました。

「グローバル21」では、戦略策定の前提として売上高1兆円規模到達を長期目標に掲げます。世界に通用する技術と強靱なコスト体質を創造しながら、ビジネスチャンスの大きい海外市場を重点的に攻略することによって継続的な成長・発展を遂げ、「世界の住友重機械」への飛躍を目指します。また、「躍進07」で進めてきた事業間価値連鎖を引き続き推進してさらに多くの「一流商品」を創出していきます。

2. 「グローバル21」財務数値目標

最終年度である2010年度において以下の数値目標の達成を目指します。

2010年度	売上高	8,500億円
〃	営業利益	1,000億円

なお、ROICを引き続き住友重機械グループの経営指標とし、ROIC > WACCを継続するとともに、継続的にROIC10%以上を確保します。

3. 「グローバル21」経営戦略

長期目標である売上高1兆円を2015年までに達成することを目指して、上記の財務数値目標達成のために下記の戦略を実行します。前中期経営計画および「躍進07」を通して財務体質が強化されたことから、今後とも財務規律を維持しつつ成長に向けての投資を積極的に実施していきます。具体的には3ヵ年で約1,500億円の設備および開発投資を実施する計画です。

(1) グローバル展開の加速

B R I C Sをはじめとする成長余地の大きい海外市場に対して積極的に事業展開を図ります。現有商品に磨きをかけ、グローバルに競争力のある「一流商品」を創り出すと同時に、販売網の整備やマーケティングの強化、生産拠点の増強を図り、コスト競争力やロジスティクスの観点でグローバル・サプライチェーンを強化します。

(2) イノベーションの推進

世界に通用する「一流商品」を継続的に創出するため、マーケティングや研究開発のプロセスを強化し、組織的知識創造力を高めます。長期的な視点に立ち、人材の確保とその育成にも積極的に取り組んでいきます。また、既存事業の質を高め、シナジー効果が期待できる場合や新たな事業展開を図る場合などにはM&Aにも取り組んでいきます。

(3) 事業間価値連鎖によるシナジーの追求

「躍進07」で定めた、機械装置のコアとなる変減速機や制御コンポーネントなどの「キーコンポーネント」、プラスチック機械や建設機械等の「装置」、各種機械・装置を統合する「トータルシステム」の考え方を継承し、事業間の価値連鎖を強化することによって商品力強化および付加価値向上に取り組めます。

4. 配当の考え方

継続的な増配を確実にしていきます。

注 R O I Cは投下資本税引後利益率であり、投下資本（株主資本と有利子負債の合計金額）に対してどれだけ利益を出しているか、資本のコストに見合う収益性があるかを示す指標です。W A C Cは加重平均投下資本コストであり、株主資本コストと有利子負債にかかるコストを示します。

以上